

## 1 実践内容

### ①いじめ防止宣言文

第1回プロジェクト会議から生徒会本部での定例会議の話合いで、どのようにプロジェクトを進めていくかを検討した結果、生徒会本部から各学級にいじめについての問題提起をし、各学級でいじめ防止宣言文を作り、それを集約して生徒会としてのいじめ防止宣言文を作ろうということになった。その後、中央委員会で学級代表を集め、たつこのプロジェクトの趣旨といじめをなくすための宣言文を作っていくために各学級で話し合いを行うよう要請した。



←熱心に話し合いをする  
生徒たち

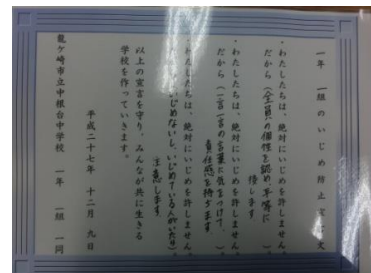


できた宣言文を→  
発表する生徒

各学級で、いじめは人ごとではない、身近な問題として捉え、いじめを防ぎ、なくしていこうという意志を宣言文にするため、自分の意見を出し合い、学級の宣言文を作りあげた。

18日に全校集会を開き、各学級の宣言文と一緒に生徒会としての宣言文を発表する。

完成した1年1組のいじめ防止宣言文→



### ②「学校生活生き生きプロジェクト」

「学校生活生き生きプロジェクト」とは部活動が中心となり、学校や地域の人のために自分達ができることを自主的に行っている活動である。6月から始まり、2学期は2年生が中心となって活動に取り組んでいる。内容は、朝のあいさつ運動や学校周辺の清掃活動、校内の環境美化に取り組んでいる。私たち自身が、学校に貢献できる内容を考え、自分達から進んで行動している。



## 2 成果と課題

- 中央委員会で「いじめ」について話し合いをもったことで、「いじめ」に対する意識が以前より高まった。各学級での話し合い活動の後、学級代表を中心に学級の意識を高めようとする雰囲気が、以前より高くなった。
- 「学校生活生き生きプロジェクト」を通して、自分達の学校や地域がより良い環境になるようにしていこうという意識が高くなった。
- 宣言文を作って終わりにならないよう、これからも自分達の言葉遣いや友達への接し方を振り返りながら「いじめ」について考えていきたい。